

決算に 対する

各会派の要望・意見

日本共産党藤沢市議会議員団は、平成26年度一般会計決算ほか6特別会計決算等に反対し、その他の会派は全決算に賛成しました。

子どもの人権擁護 第三者機関の創設を かわせみクラブ 7人

①災害時に備えて避難行動要支援者名簿の提供率をさらに上げる取り組みを進めること。②本市は、空母艦載機やオスプレイの危険な飛行経路下であり、騒音対策のみならず、基地のある自治体と同等の情報提供と対策を。③外国人や社会的マイノリティを誹謗中傷し、排斥を訴えるヘイト・スピーチは心への暴力であるという啓発を進め、差別や排外主義の動きには毅然たる対応を。④いじめのない学校や社会づく

チームふじさわ 総合力の発揮を 藤沢市公明党 6人

①行政組織の横断的連携により、チームふじさわとしてあらゆる課題に対して総合力の発揮を。②今後の公共施設整備等の際は、クラウドファンディング(※1)の積極的な活用を。③防災ラジオの頒布を今後も続けること。④各地区の自主防災会及び各避難施設ごとにHUG(※2)を活用した訓練の開催を。⑤湘南ライフタウン、石川、湘南台方面のバス運行について、計画どおりの改善を。⑥東京オリンピック・パラリンピックに向けて、健康ポイント事業などの全市的な健康増進活動を。⑦藤沢型地域包

り。⑤家庭内暴力や虐待、貧困や差別などを含めた、子どもの人権擁護のための第三者機関創設の検討を。⑥精神障がい者の雇用は、市役所での雇用を通じて合理的配慮を研究し、民間での雇用拡大につながる取り組みを。⑦障がい者歯科診療は、医師と患者双方の負担増や治療の質の低下を招かないよう、歯科医師会と協議し、事業の発展を。⑧障がい者が支援を受けながら地域で暮らすグループホームの増設に向け、社会全体の理解を広げる啓発などの取り組みを。⑨福祉制度の支援を受けられるのに手が届かない人たちに、制

度周知の徹底等、丁寧な対応に努め、救済する立場で取り組むこと。⑩労働基準監督署や県と連携し、劣悪な労働条件のブラック企業、ブラックバイト対策の取り組みを。⑪自殺には、精神的なサポートだけでなく、債務整理や生活困窮者支援などにつながる対策を。⑫越境通学は教育とスポーツの法とモラルにかかわる重大な問題であり、毅然とした対応を。⑬本市の行政改革は、いかにによりよい市民サービスを指すかを目標としており、今後も市民の思いを丁寧

古新聞の戸別収集 早期の試行実施を 自民クラブ藤沢 5人

①事務作業の効率化や見直し、振りかえ制度、時差出勤の柔軟な運用により、時間外勤務手当抑制を。②防災行政無線とMCA無線が聞こえにくい地区をなくすよう常に更新し、市民の安全確保を。③民生委員の負担軽減のため、行政の支援と地域の協力で仕事の分散を目指すし、イベント参加なども減らすこと。④児童の放課後の居場所づくりのため、現在ある放課後子ども教室を支援すること。⑤ごみ分別アプリに、落書き、不法投棄の通報や質問などができるシステムの早期導入を。⑥資源持ち去りを防ぐため、古

括ケアシステムについて、ロードマップを明確にした推進、構築を進めること。⑧生涯現役社会の実現のため、高齢者に対する就労、ボランティア、地域デビューのきっかけづくりなどの総合的な対策を。⑨保育コンシェルジュの知識や相談スキルの向上を目指すこと。⑩若者しごと応援塾「ユースワーカーふじさわ」利用者のプログラム体験を広く情報発信すること。⑪仕事や生活に行き詰まる若者向けの「若者総合相談支援窓口」の設置を。⑫区域別ごみ収集カレンダーについて、見やすく生活に役立つように作成すること。⑬いじめに関するアンケートについて、常に問題提起をしながら実施すること。⑭藤沢市通学路安全プログラ

小児医療費助成制度 将来を見据え拡充を 自由松風会 6人

①二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックとその先のレガシーを視野に、神奈川県が推進するかながわシニアプロジェクトに、相模湾沿岸の各市町と連携の拡充を。②市民憲章の理念が根づくよう、日常の場面で理念を想起させる発展的な取り組みを要する。③防犯カメラの設置補助

新聞の戸別収集試行の早期実施を。⑦藤沢マイスターは後進の目標となるため、さらに認知度を高めること。⑧市内農水産業を守るため、農業振興基本法の推進政策を具現化し、各事業の補助率向上を。⑨東京オリンピック開催による江の島の観光客増加に備え、トイレを初め、島内の施設のさらなる充実を。⑩善行乗り合いタクシーは、地域をつなぐ広域連携と利用者拡大に向け、新ルートの検討を。⑪全ての地域の子どもを見守るため、スクールガードリーダーを北部だけでなく南部にも速やかに配置すること。⑫地域のボランティア活動を広く市民に伝えるふ

待機児解消に向け 認可保育所建設を 日本共産党藤沢市 議会議員団 4人

①厚木基地へのオスプレイ飛来をやめさせ、ジェット機爆音解消に全力を。②子どもの医療費無料化を中学校卒業まで引き上げる。③待機児解消に向け、安心して預けられる認可保育所の建設を。④市民の家や図書館の指定管理者制度を直営に戻すこと。⑤国民健康保険料は、最低一人一万円引き下げるべき。⑥待機児解消のため、特別養護老人ホーム建設を急ぐべき。⑦医療・介護総合法への移行に伴い、介護を必要とする全ての要支援者が利用できるよつにすべき。

は、さらに柔軟な制度となるよう検討を。④任意後見制度は非常に有効であるため今後も継続して取り組み、専門職と連携して安心して利用できる制度にすること。⑤小児医療費助成制度は、小児科医の定着の一助となるためにも、拡充を図るとともに、少子超高齢社会を見据えて本市の人口増加につながる総合的な施策展開の検討を。⑥医師会立看護専門学校への運営補助に、早期の独立運営及び卒業生の湘南東部医療圏内への就職について、医師会へ指導監督を行うよう要する。⑦障がい者の雇用について、廃棄物資源化の中間

選挙ポスターの設置 危険箇所の確認を さつき会 3人

①事業施策の継続的な点検と観光資源を含めた新たな歳入確保に向けた全庁一丸となった取り組みを。②地域コミュニティ拠点施設について、公有地の有効活用のほか、地域要望による空き家の活用や賃料の補助等の適切な対応を。③選挙ポスター掲示板の設置は、危険箇所の現地確認を含めた事前の十分な調査を強く要望する。④市税等収入

未済額の縮減に向け、粘り強い納付率向上の取り組みを。⑤生活習慣病の重症化予防に力点を置き、健康寿命の延伸、医療費の抑制につながる取り組みを。⑥サイクルチャレンジカップ藤沢について、早期に開催を決定し、出場者へ情報提供を。⑦エコファーマー育成や米の高付加価値化に取り組む、水田の保全を図ること。⑧自転車走行環境の整備に先導的に取り組む路線を中心に専用レーンの拡充を。⑨部活動指導者派遣について、人材確保と待遇改善に必要な予算の確保を強く要望する。

世界でも認められる 外国語・英語教育を ふじさわ維新 1人

①藤沢市を生活圏とする茅ヶ崎市堤地区への行政サービスを人道的観点で維持し、高齢社会に向けて地域間交流の促進、緊急時や災害などに支援を。②子供たちに多くの学習機会を提供し、特に外国語・英語教育に力を入れ、欧米を参考に本市独自のシステムを構築し、世界に認められる社会形成を。③二〇二〇年の東京五輪セーリング競技の開催に向け二〇一六年開催国を情報収集のため視察し、郷土の記憶に残すこと。

①市職員の持ち家に対する住宅手当の廃止を含めた給与制度見直しの断行を。②市の委託事業を複数担うNPO法人への業務委託について、横断的かつ総合的な判断を。③子ども・子育て支援新制度における家庭的保育施設の給食対応について、早期に具体的な検討に入る

地域住民と協働し 学校をミニ社会に アクティブ藤沢 1人

①保育所を今後も速やかに整備し、待機児童解消を。②保育コンシェルジュは、相談のみならず潜在的なニーズにも対応を。③保育士の処遇改善を。④子育てしやすい環境を整えるため、男女共同参

二〇二五年に向けて市内連携にとまらない多世代、多業種が連携しやすいまちづくりのため、地域の縁側は空き家も活用し多様な担い手と連携を。また、地域住民と協働し、学校の中をミニ社会にする教育活動を。徘徊する認知症の方をキヤッチできるコンビニとの協定等の仕組みづくりを早急に。予防接種時の事故をなくす技術的な対策と追跡調査を。法とモラルを守り職員の不祥事や不適正な事務処理をなくすこと。

潜在的ニーズ対応を 藤沢市民と歩む会 1人

①保育所を今後も速やかに整備し、待機児童解消を。②保育コンシェルジュは、相談のみならず潜在的なニーズにも対応を。③保育士の処遇改善を。④子育てしやすい環境を整えるため、男女共同参

画推進事業の充実を。⑤タブレット端末を使用した教育の検証研究は、一人一台用意するなど思い切った試行が必要。⑥市各課が作成したホームページ等は、IT推進課の参画や部署間の連携などで問題の解決を。

(※1) クラウドファンディング…インターネットを通じて広く不特定多数の人から事業に対する資金を募集すること。
(※2) HUG…H(避難所)、U(運営)、G(ゲーム)の頭文字を取ったもので、静岡県が開発した避難所の運営を模擬体験できるゲーム。